


【実施計画】

番 号	2-2-2
-----	-------

改革の視点	2 財 源		基本的な方向	2 歳出の削減	
実施計画項目	2 時間外勤務時間の抑制			改善の視点	ルール(規範・条例・運営基準を見直す)
内 容	業務の効率的な改善を進め、職員の健康の保持増進、時間外勤務時間の抑制を図る。 勤務時間管理の厳正化を図り、ノー残業デー、振替休日・時差出勤の活用などによる緊急時以外の時間外勤務時間削減を徹底する。			主 体 課	人事課
				担当課所	全課所
達成目標			評価の手法		
【時間外勤務時間の抑制】 前年度と比べ、時間外勤務時間を抑制する。 (H21一般/特会総実績89,823時間)			【時間外勤務時間の検証】 目標が達成できたかどうかを主体課により検証し、業務効率の向上に努める。また、時間外勤務時間の前年度と比した抑制時間を算出する。		
年 度	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
実施スケジュール					
評価の時期	○	○	○	○	○
目標の内容	前年度と比べ、時間外勤務時間を抑制する。	ノー残業デー等の徹底に努め、時間外勤務時間の抑制を図る	ノー残業デー等の徹底、一定の時間を超える職員には産業医の健診時に合わせ面談を行う。	時間外勤務の事前命令、勤務後の実績確認、ノー残業デーの徹底と職員の健康保持に努める。	時間外勤務の事前命令、勤務後の実績確認、ノー残業デーの徹底、年間業務の計画的執行と職員の健康保持に努める。
平成22年度までの主な推進状況	時間外勤務の抑制については、職員の総時間外勤務数は、平成19年度に対前年比13.6%減少、平成20年度に対前年比19.8%と減少を続けてきたが、平成21年度は福祉ニーズの増加、新型インフルエンザの流行に伴う対策業務、総選挙事務、定額給付金事務などの影響により対前年比12.4%の増加となっている。				

【取組結果】

年 度	担当課所	取組内容、見直し効果等の説明	進捗率(金額等)
平成23年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	6月に「ノー残業デー」の周知・徹底を行った。 23年度3月末時間外時間数 94,742h 22年度3月末時間外時間数 96,864h	前年度比 ▲2.2%
	担当課所		
平成24年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	ノー残業デーの前日に周知・徹底を行った。 24年度3月末時間外時間数103,748h(経常分74,657h) 23年度3月末時間外時間数 94,742h(経常分 69,714h)	前年度比 9.5% (市制施行75周年記念事業、新基幹システムの導入等による。)
	担当課所		
平成25年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	ノー残業デーの前日に周知・徹底を行った。(ノー残業デーに時間外勤務をする届出の徹底) 25年度3月末時間外時間数97,578h(経常分69,464h) 24年度3月末時間外時間数103,748h(経常分74,657h)	前年度比 ▲6.0%
	担当課所		
平成26年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	ノー残業デーの前日に周知・徹底を行った。(ノー残業デーに時間外勤務をする届出の徹底) 26年度3月末時間外時間数107,388h(経常分71,594h) 25年度3月末時間外時間数97,578h(経常分69,464h)	前年度比 10.1%(経常分 3.1%) ※新財務会計システムの導入、臨時福祉給付金事業等による。
	担当課所		
平成27年度 進捗状況	主体課 (とりまとめ課)	ノー残業デーの前日に周知・徹底を行った。(ノー残業デーに時間外勤務をする届出の徹底) 27年度3月末時間外時間数 108,846h(経常分 74,402h) 26年度3月末時間外時間数107,388h(経常分71,594h)	前年度比 1.4%(経常分 3.9%) ※総合文化施設オープニング事業、1階フロア改修、臨時福祉給付金事業等による
	担当課所		